

「おはようございます」。元気な声で出迎えてくれました。今年7月、犬や猫などのケアハウスを錦町から朝日に移転しました。飼い主の“悩み”にも耳を傾けます。7月29日に町と「厚真町における災害時等の動物救護活動等に関する協定」を結んだ早川さんに話を聞きました。



Vol.18

Animal total care HAYA を経営

はやかわ りつこ
早川 律子さん(50歳)

町と防災に関する協定を締結
動物を通じて飼い主の心のより所に

9年ほど前、実家がある厚真町へ移住しました。高校を卒業後、札幌市内で自動車会社やペットショップに勤め、移住後には町臨時職員として2年間勤務。知人から「犬や猫を飼っている町民は多いけれど、専門的に扱ってくれる施設がないので、あなたやってみたら」と勧められ、ペットホテルを開業しました。宣伝はせず、利

用者の口コミだけで営業しています。「開業当初は、半年ぐらい大変だったの。寝る時間もなく、夜には、アルバイトして生活を維持しました。」
北海道胆振東部地震では、過去の自然災害の事例からペット問題が頭に浮かびました。「避難所と一緒に暮らしたくても、暮らせない人が出てくる。力になりたい。」

動物の避難所として、ここを開けよう」。発生3時間後には、公共施設に「愛犬や愛猫を預かります」という張り紙を掲示して回りました。本能的に体が動いたそうです。動物の一時避難（預かり）は、すべてボランティアです。飲料水を確保して商品のペットフードを提供しました。飼い主にも様子を伝え、不安解消の努力を続けました。早川さんには「感謝しても感謝しても足りません。愛犬と散歩するという日常も取り戻せてうれしかった」など、時間と共に感謝の言葉が数多く寄せられました。協定によって、町公認の動物救護施設に認定されました。被災動物の応急手当や飼育などについて助言や指導を行います。北海道動物愛護推進員でもある早川さんは獣医師の常勤も計画しています。「動物を通じ、飼い主の心に寄り添えるような拠点を目指したいです。」

あなたにとっての
愛すべき厚真を投稿してください



フェイスブック
@atsumatownhokkaido



インスタグラム
atsumalovers

ハッシュタグ #atsumalovers をつけてフェイスブックまたはインスタグラムに投稿してください。

ATSUMA LOVERS